

堀内 孝子 選

特 選

キャンバスに黒いえんぴつ走らせてそこは未来を彩る世界

広島市立船越中学校二年 西村菜々海

【評】鉛筆でひたすら下絵を書いている作者。未来を彩る世界で、どんな絵が描けるかワクワク感が伝わってくる。

つらつらと願い込めては紙丸め決意記した志望理由書

呉市立呉高等学校三年 砂賀帆乃佳

【評】大学進学のか望理由書を何回も書き直している様子が浮かんでくる。願いを込めてやっと書きあげ希望が感じられる。

あつすぎてはっぱのかげにかくれんぼありの足にもくつあげたいな

庄原市立東小学校三年 中野 郁実

【評】暑かった夏、ありも暑くて葉っぱのかげにかくれんぼしているのかなとありの様子をよく観察し優しさが伝わってくる。

陸上部海まで駆けた夏の空水切りの石波に輝く

呉市立仁方中学校二年 平本 敦子

【評】海まで走った陸上部員。激しい部活の合間、水切りをしている様子が浮かび、しばしの安らぎが感じられる。

餅まきで近所のおばさん若返る紅白もちを両手で抱え

呉市立呉高等学校三年 兼藤 杏花

【評】近所のおばさん若返る、紅白餅を両手で抱えと、具体的に餅まきの様子が表現されて楽しい歌。リズムも良い。

喜びの響く産声分娩室窓の外には銀杏輝く

呉市立呉高等学校二年 田畑 杏莉

また一步一步前進決意して駆け出す私の背を押す夕日

呉市立仁方中学校二年 福山 智規

高得点次は取るぞと意気込んで必死に勉強とつた100点

安芸高田市立吉田中学校二年 源田 悠心

あの日見た受け入れられぬ父の死が線香をそえる怖き夜の日

呉市立阿賀中学校二年 平本 義仁

静かさが居心地の良い図書室で自分の世界の扉を開く

三原市立大和中学校二年 谷本 結菜

古希祝うおばあちゃんへマグカップ元気でいてね思いを込めて

三原市立大和中学校二年 小原 陽光

あついなつおこめものがかわくよねいっばいできておいしくなあれ

庄原市立東小学校一年 三宅 望愛

目指そうよ核兵器なき世界へと今年で被爆八十年か

県立広島中央特別支援学校中学部三年 中谷 悠人

更衣クローゼットの扉あけ高校最後の夏袖とおす

呉市立呉高等学校三年 酒井 莉子

外見るとツバメの親が巣に入る子どものためにまた飛び出した

庄原市立比和中学校二年 深川 結菜

家族のため働いている両親に伝え続ける感謝の気持ち

尾道市立御調中学校二年 青山 彩華

桜散り川に流れる花びらが風光明媚絨毯のよう

廿日市市立野坂中学校二年 岡田 陸翔

仲間からもらったパスで走り出す届かなかったあとと一歩だけ

安芸高田市立甲田中学校二年 高橋 美結

田んぼから聞こえる声に耳澄ます蛙の家族演奏始め

三次市立布野中学校一年 森島 陸市

夏空に今飛び立った燕の子心地よい風に翼をあずけて

尾道市立向東中学校三年 大本 愛葵

ふりあげるこの一瞬で点が決まる大歓声のバレーコート

広島市立安佐中学校二年 出店 宥人

虫の声月が昇るとひびき出す夏のきれいな合唱団

安芸高田市立甲田中学校二年 西寅 夢桃

体育館絶えることないドリブル音みんなで夢見た呉市一位

呉市立阿賀中学校二年 清水 勇佑

かつとばせ！ぐんぐん伸びてホームラン真っ赤に染まった観客席へ

呉市立川尻中学校二年 脇田 陽菜

かわいいな癒しをくれてありがとう猫のとのくん私のペット

呉市立呉高等学校三年 松浦 幸来

堀内 孝子 選

特 選

ねんごろに父の義手干す秋晴れの庭にいちにち蜻蛉とびかふ

福山市 林 すみ

【評】お父さまの手がむれないように、秋晴に義手をしつかり乾かす優しい様子が浮かんできく。蜻蛉とびかふも良い。

駅前大橋を路面電車はおもむろに八十年前の爆心^{やそとせ}へ向かふ

三次市 磯井ふみ子

【評】原爆ドームに続く路線は、今も変わらず爆心地へと走っている。八十年前を決して忘れてはならない思いが伝わってくる。

九十九の姉に認^{したた}むこの手紙これが最後と真夜に墨書す

世羅郡世羅町 高本 澄江

【評】姉妹の絆はいつまでも強く、手紙を書かれる方も読む方もしっかりとされている様子が感じられる。墨書にも感心した。

片足を無くした夫に励ましの言葉探して車椅子押す

広島市 西岡 昌子

【評】事故でしようか。御主人にかける言葉を探しながら、車椅子を押して見守る作者の姿が浮かんでくる。

満開のミツマタトンネルくぐりぬけ移り香乗せて春持ち帰る

広島市 奥田 亮子

【評】春先に咲くミツマタの花。その群生のトンネルをくぐり抜けていく様子と、感動が楽しく感じられる。春持ち帰るも良い。

包帯の坊やおぶった小学生いかに生きたや八月六日

呉市 小川美和子

入幕し史上最速横綱へ明るいニユース石川の星

三次市 石原 愛子

朽ちた木の洞へと風は入りこみ戦死の祖父の声を引き出す

庄原市 古家八千代

あと何度夏と一緒に過ごせるか難病指定受付すます

広島市 岡田 郁枝

葉桜の車窓に光あふれ来て万華鏡の中行くがごとしも

尾道市 砂田 悦子

五時間の輸血の夫を娘に委ね再起を願う夕暮れの空

広島市 山田 雅子

鎮魂の願いを込めて高らかに平和祈念の鐘鳴り響く

広島市 加土 道子

生かされて今日も美味しいしょうがの湯データービスは最後の楽園

尾道市 卒寿姫

渡船いま長き歴史に別れ告ぐ尾道水道に汽笛残して

福山市 高橋千恵子

文学も漫画も百円というフリマ漫画ばかりが売れる寂しさ

福山市 肥後 弘子

試歩終えし妻に肩貸し歩を合わす暮れなずむ島のあじさいロード

尾道市 仲尾 修

湖に殺処分されし白鳥の声のみ流れるときわ公園

広島市 田辺 操子

耳鳴りの続く淋しさ空をゆく雲に音あるごとく聞こゆる

福山市 杉之原壽美

ベッドから天井見つめもう一度再起を誓い励むりハビリ

広島市 松本壽賀子

母恋し新盆^{にいぼん}終えて訪ね寄る西方^{にししかた}の磯潮騒をきく

広島市 末田 敦子

炭酸がシュワシュワシュワとはじけ跳び口の中まで夏色になる

広島市 寺澤 紀子

売り切れのランプが並ぶ自販機で待機しているコーンポタージュ

広島市 羽城 裕子

流灯の平和希求のメッセージ若者熱く練る爆心地

安芸郡府中町 石橋 康徳

シャボン玉手にとどめんと幼な児は追いたり五月のひかりの空を

広島市 三澤 明美

ふるふると早苗が揺れる畔道に鯉のぼり立ち子らは駆けゆく

庄原市 古家美壽枝